



# 時中堂だより

第7号（通算第17号） 平成29年1月10日（火） 発行：岩手県立花巻南高等学校 文責：遠藤



## あらたまの年のはじめに

希望溢れる新年を迎えました。すべてが新鮮に輝き出す初春です。

この新しい年に、花巻南高校生諸君が目標に向かってまっすぐな心で精一杯挑戦し、その努力が素晴らしい結果と幸いをもたらすことを願います。一人ひとりが豊かな人間性を育み、夢を育てて実現させる花巻南高校として、力強く前進していきたいと思えます。

保護者の皆様、どうぞよろしくお願いたします。生徒諸君、頑張ってください。

タイトルにつけた「あらたまの」は枕詞ですね。私は国語の教員なので、少し補足させてください。枕詞は主に和歌で用いられ、決まった語の前に置いて語調を整えたり、情趣を添えたりします。「あらたまの」は「年」「春」などの前に置かれる枕詞です。語源は未詳ですが、「新玉（あらたま：新しく掘り出したばかりの磨かれていない宝玉）」から来たとも、「改まる」「新たまる」の意とも言われます。古代日本人が「年」をイメージした表現だと思えば、何だか新鮮な気分になりますね。待ちに待った、新しい年です！



## 信念を持って、人生を切り拓く

～マザー・テレサの名言に学ぶ①～

マザー・テレサ（1910-1997）はマケドニア（旧ユーゴスラビア）に生まれ、18歳で修道女としてインドに渡り、女子校で教えました。37歳で自らスラム街に移り住み、最貧層の人々、孤児、病人のための活動に身を投じました。彼女はインド国内に孤児や病人の施設を次々に開設し、その活動は世界中に影響を与えたのでした。1979年ノーベル平和賞受賞。亡くなった時はインドで国葬が行われました。彼女の人生には苦難も多く、時に批判にさらされても、信念を貫いた生涯でした。多くの名言を残していますが、まず紹介したいのは次の言葉です。

あなたの正直さと誠実さが、あなたを傷つけるでしょう

気にすることなく、正直で誠実であり続けなさい

（マザー・テレサ）

正直で誠実であるほど、人は傷つくことが多くなります。例えば誰かが怒っている時でも、怒りの仮面の下には傷ついた素顔があることも多いのです。では、正直さや誠実さなど捨ててしまった方がいいのでしょうか。都合よく立ち回り、要領よく得をする人間になった方がいいのでしょうか。これに対してマザー・テレサは、「気にすることなく、正直で誠実であり続けなさい」と説きました。強い気持ちが伝わってきますね。私は、この言葉を初めて知った時、こんなふうに思いました。

そうか、自分が正直で誠実であるために傷つくなら、それでいいと覚悟すればいいんだ。

傷つかず、うまく立ち回るために、信念を曲げる必要なんてない。

傷ついても、自分自身に誇りを持って進めばいい。その方がずっといい。



# 信念を持って、人生を切り拓く

## ～マザー・テレサの名言に学ぶ②～

マザー・テレサの有名な言葉をもう一つ紹介しましょう。これから自分の人生を作り上げる高校生はもちろん、大人も深く心にとめておきたい言葉です。

思考に気をつけなさい、それはいつか言葉になるから。  
言葉に気をつけなさい、それはいつか行動になるから。  
行動に気をつけなさい、それはいつか習慣になるから。  
習慣に気をつけなさい、それはいつか性格になるから。  
性格に気をつけなさい、それはいつか運命になるから。 (マザー・テレサ)

この言葉を初めて知った時も、本当にすごいなあと思いました。。

**思考** → **言葉** → **行動** → **習慣** → **性格** → **運命**  
思う                  語る                  行動する                  身につく                  人柄となる                  人生が決まる

いつも「ムカつく！」と思っている人は、その思いが言葉になり、行動となります。そのうち不機嫌そうな振る舞いが習慣化し、その人の性格そのものになるのです。その性格ではなかなか周囲から愛されず、残念な人生を送ってしまうことになるのでしょう。

「どうせ無理…」と思うのが癖になっている人は、それが言葉になり、行動となります。「どうせ無理だからやめた」という行動が習慣化すると、すべてにおいてネガティブな性格になります。そうして可能性を自ら閉ざし、やはり残念な人生になってしまうのですね。

一方、いつもポジティブに考えようとする人もいます。「何か人の役に立とう」と思っている人は、その思いが言葉や行動になり、その人の性格そのものになっていきます。きっと周囲から信頼される人間に成長し、素晴らしい人生を送るに違いありません。

つまり、自分の運命がどうなるかは、自分の考え次第なのだとということなのでしょう。あたたかく厳しい言葉です。

## 大学入試センター試験まで、あと4日！

大学入試センター試験が1月14日（土）～15日（日）に迫りました。受験に臨む3年生諸君が最良のコンディションで臨めるよう、学校をあげて応援しましょう。

センター試験は、勉強のインターハイであり、甲子園であり、全国高総文祭です。予選のない大会であり、誰もが頂点を目指す権利を持っています。思う存分実力を発揮してください。受験する3年生用に『時中堂だより』センター直前号外を発行したので、参考にしてください。センター試験はゴールではなく、途中の通過点です。途中で燃え尽きることなく、その先にある夢の実現まで力強く進んでくれることを願っています。

センター試験の他にも、様々な試験に挑戦し、進路実現を目指している3年生諸君がいます。君たちの努力が実を結ぶまで、全力で応援していきます。

頑張れ、花南生！

